

蒸気散水法による土壌リフレッシュ技術

当研究所のパイプハウス内に養分集積状態の異なる土壌条件を設定して蒸気散水処理を実施後、ホウレンソウを栽培してその効果を検証しています。現時点で処理を実施した試験区では、(1)養分が過剰に集積した土壌条件下でも無処理区と比較して発芽率が高いこと、(2)立枯れ症状を起こす土壌病害の発生は認められないこと、(3)雑草の発生が認められないこと、が示されています。

今後は、これら効果の継続性について調査を行います。



左：蒸気散水処理、右上：播種3週間後のホウレンソウの生育状況（処理区）、右下：同（無処理区）